

事業活動脱炭素化取組結果報告書

(宛先) 川崎市長

郵便番号 173-8605

住 所 東京都板橋区加賀二丁目11番1号

氏 名 学校法人 帝京大学

理事長

冲永 佳史

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策等の推進に関する条例第11条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	学校法人 帝京大学		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 高津区二子5-1-1		
該当する事業者の要件及 び温室効果ガスの排出を 行う産業、運輸その他の部 門	<input checked="" type="checkbox"/>	規則第4条第1号該当事業者	業務 部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第2号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第3号該当事業者	部門
	<input type="checkbox"/>	規則第4条第4号該当事業者	部門
主たる事業 の業種	大分類	P	医療、福祉
	中分類	83	医療業
主たる事業 の内容	一般病院		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量	2,842 kL
	<input type="checkbox"/>	自動車の台数	台
	<input type="checkbox"/>	エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量	t-CO ₂
連絡先	担当部署	担 当 部 署 名	
		所 在 地	
	電 話 番 号		
	F A X 番 号		
	メー ル ア ド レ ス		

※ 受付欄		※ 特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	2024年度	2026年度	(報告年度 2024年度分)
事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項	別添	指針様式のとおり	
自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出の量の削減に係る事項	別添	指針様式のとおり	
温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項	別添	指針様式のとおり	
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添	指針様式のとおり	
備考			

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
3 報告書には、事業活動脱炭素化取組指針に定める資料を添付してください。
4 ※印の欄は記入しないでください。

3 事業活動に伴う温室効果ガスの排出の量及び当該量の削減に係る事項

(1) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量((基)は基礎排出量を、(調)は調整後排出量を示す。以下同じ。)

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
基準年度	2023	年度	2023	年度	2023	年度
目標年度	2026	年度	2026	年度	2026	年度
基準排出量 (t-CO ₂)	(基) 5,280 (調) 4,934		(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) 5,227 (調) 4,885		(基) (調)		(基) (調)	
削減量 (t-CO ₂)	(基) 53 (調) 49		(基) (調)		(基) (調)	
削減率	(基) 1.0 % (調) 1.0 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

イ 温室効果ガスの排出の量の実績

			1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
第1年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) 5,305 (調) 5,305		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) -25 (調) -371		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) -0.5 % (調) -7.5 %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第2年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	
第3年度	(年度)	排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減量 (t-CO ₂)	(基) (調)		(基) (調)		(基) (調)	
		削減率	(基) % (調) %		(基) % (調) %		(基) % (調) %	

(2) これまでの取組における温室効果ガス排出の量の削減目標等

	1、2号該当者		3号該当者		4号該当者	
比較年度	2017	年度	2013	年度	2013	年度
比較年度排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	5,819 5,792	(基) (調)		(基) (調)	
目標排出量 (t-CO ₂)	(基) (調)	5,227 4,885	(基) (調)		(基) (調)	
削減率(目標)	(基) (調)	10.2 % 15.7 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第1年度)	(基) (調)	8.8 % 8.4 %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第2年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %
削減率(第3年度)	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %	(基) (調)	% %

(3) 目標設定に関する説明

溝口病院は2017年度に新病棟が竣工し今年で8年目であるため、エアコン設備の一部更新を検討している。また、職員共用部のブラインド管理やエアコン設定温度の緩和などの改善に関しても順次実施することを検討している。
また、定量的な排出量算定は困難であることと、近年夏期の外気温が高い傾向にあることも鑑みて、計画期間の削減率1%を目標として設定した。

(4) 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施する温室効果ガスの排出量の削減に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	①定例のFM委員会を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 ②主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る ③BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る ④中間期のチラー停止 ⑤職員共用部のエアコン運転スケジュール短縮 ⑥職員共用部の照明間引を実施 ⑦空調設備の更新検討 ⑧入院棟のエレベーターの運用見直し
第1年度	①②③実施済み ④負荷の状況に応じて実施中 ⑤⑥⑧実施中 ⑦空調設備の更新・OH検討を実施中
第2年度	
第3年度	
計画期間における排出量の増減等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

4 エネルギーの使用量及び当該量の削減に係る事項

(1) エネルギーの使用量に係る原単位等の値(1、2号該当者)

原単位等の活動量		建物延床面積	原単位等の単位		k1/m2
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
エネルギー消費原単位等の値	0.06503	0.06603			0.06439
活動量の値	43,037	43,037			43,037
エネルギー消費原単位等の削減率		-1.5 %	%	%	1.0 %

(2) 温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値(4号該当者)

原単位等の活動量			原単位等の単位		
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度
排出量原単位等の値					
活動量の値					
排出量原単位等の削減率		%	%	%	%

(3) 目標設定に関する説明

溝口病院は2017年度に新病棟が竣工し今年で8年目であるため、エアコン設備の一部更新を検討している。また、職員共用部のブラインド管理やエアコン設定温度の緩和などの改善に関しても順次実施することを検討している。
また、定量的な排出量算定は困難であることと、近年夏期の外気温が高い傾向にあることも鑑みて、計画期間の削減率1%を目標として設定した。

(4) 基準年度からの原油換算エネルギー使用量等の推移 (1、2号該当者)

ア 事業者単位

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
原油換算エネルギー使用量	2,799 kL	2,842 kL	kL	kL
エネルギー起源CO ₂ 排出量	5,280 t-CO ₂	5,305 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂
事業所の数	3	3		

イ 事業所単位

基準年における年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kL 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量<クレジット考慮> (t-CO ₂)			
		基準年度	第1年度	第2年度	第3年度
帝京大学医学部附属 溝口病院	神奈川県川崎市高津区 二子5-1-1	4,951	4,966		

(5) 計画期間のエネルギー消費原単位等の状況及び措置の状況等

(計画には、計画期間内に実施するエネルギー消費原単位の改善、エネルギー使用量の削減等に向けた措置の内容を事業活動脱炭素化取組指針の別表第1から6等を参考に記載してください。)

計画	①定例のFM委員会を得て設置するとともに、責任者の明確化、マニュアル類の整備を図る。 ②主要設備の管理マニュアルを整備し、点検管理の徹底を図る ③BEMS装置等を活用し、エネルギーデータの詳細把握を図る ④中間期のチラー停止 ⑤職員共用部のエアコン運転スケジュール短縮 ⑥職員共用部の照明間引を実施 ⑦空調設備の更新検討 ⑧入院棟のエレベーターの運用見直し
第1年度	①②③実施済み ④負荷の状況に応じて実施中 ⑤⑥⑧実施中 ⑦空調設備の更新・OH検討を実施中
第2年度	
第3年度	
計画期間におけるエネルギー消費原単位等についての評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

5 再生可能エネルギー源の利用及び使用するエネルギーの電化に係る事項 (1、2号該当者)

(1) 再生可能エネルギー源等の導入

ア 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入 (基準年度)

種類	設備規模 (kW)	発電量 (kWh/年)	余剰売電量 (kWh/年)	導入 (保有) 年度
太陽光				未定
風力				未定
バイオマス (燃料:)				未定
その他 ()				
その他 ()				
合計		0	0	

イ 使用電力の再生可能エネルギー電源比率

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電力エネルギー消費量	8,488,517 kWh	8,536,903 kWh	kWh	kWh	8,403,632 kWh
再エネ電源等	344,992 kWh	347,449 kWh	kWh	kWh	265,500 kWh
再エネ電源比率	4.1 %	4.1 %	%	%	3.2 %

(2) 電気事業者等から調達する電力の排出係数

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
排出係数 (kg-CO ₂ /kWh)	0.368	0.402			0.365

(3) 使用エネルギーの電化の取組

	基準年度	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度	目標年度
電化の割合	67.6 %	66.9 %	%	%	67.6 %

(4) 目標設定に関する説明

太陽光、風力、バイオマス等において導入検討を実施する。具体的には、設置場所や発電電力量、設置箇所の耐久荷重や騒音等諸条件を院内で検討し、実施可能かを判断する。検討の結果、実施可能であった場合は基準年度から1%削減を目標とする。

(5) 計画期間の再生可能エネルギー源等の導入、電気事業者等から調達する電力の温室効果ガス排出係数等の状況

計画	太陽光、風力、バイオマス等において導入検討を実施する。具体的には、設置場所や発電電力量、設置箇所の耐久荷重や騒音等諸条件を院内で検討し、実施可能かを判断する。
第1年度	太陽光、風力、バイオマス等において導入検討を実施中。左記について、設置箇所の耐久荷重や騒音等諸条件を院内で検討中であり、検討後に実施可能かを判断予定。
第2年度	
第3年度	
計画期間における再生可能エネルギー源等の導入等の評価 (第3年度の報告時に記載)	
上記評価を踏まえた改善対策など (第3年度の報告時に記載)	

7 温室効果ガスの排出の量の削減等に寄与する技術又は製品の開発等に係る事項

(1) 全社を含む取組

ア 脱炭素表明・中長期の温室効果ガス削減目標の設定

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
(ア) 脱炭素に向けた表明の有無				
有無	脱炭素化以外の計画有	脱炭素化以外の計画有		
内容	学生の教育環境と医療サービスの品質を低下させることのない省エネ達成を目指す。	学生の教育環境と医療サービスの品質を低下させることのない省エネ達成を目指す。		
(イ) 脱炭素に向けた表明の達成年度の目標				
年度	年度	年度	年度	年度
(ウ) 中間目標				
目標	年度	年度	年度	年度
	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比	%削減 ()年度比

イ 脱炭素化に資するイノベーションの取組

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	取組実績なし	取組実績なし		
内容				

ウ 中長期的な視点での温室効果ガスの排出量の削減目標

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	無	無		
内容				

エ 二酸化炭素を排出しない熱エネルギーの導入

項目	計画	第 1 年度	第 2 年度	第 3 年度
有無	導入なし	導入なし		
内容				

オ SBT等イニシアチブへの加盟・賛同

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
SBT	該当なし	該当なし		
RE100	該当なし	該当なし		
RE Action	該当なし	該当なし		
TCFD	該当なし	該当なし		

カ サプライチェーン全体での削減の取組

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	記載なし	記載なし		
内容				

(2) 市内事業所の取組

ア 川崎CNブランドの認定の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	製品・技術等の利用なし	製品・技術等の利用なし		
認証年度				

イ 川崎メカニズム認証制度の認証の取得

項目	計画	第1年度	第2年度	第3年度
有無	取得なし	取得なし		
認証年度				

備考 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

8 地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項（3から7までの事項を除く。）

（各年度において、計画に記載がない措置を実施した場合、実施した内容の最後に（追加実施）と記載してください。）

目標年度までの 計画	なし
第1年度	なし
第2年度	
第3年度	